

TechTargetジャパン 会員調査レポート

サーバ仮想化／デスクトップ仮想化の 導入に関する読者調査

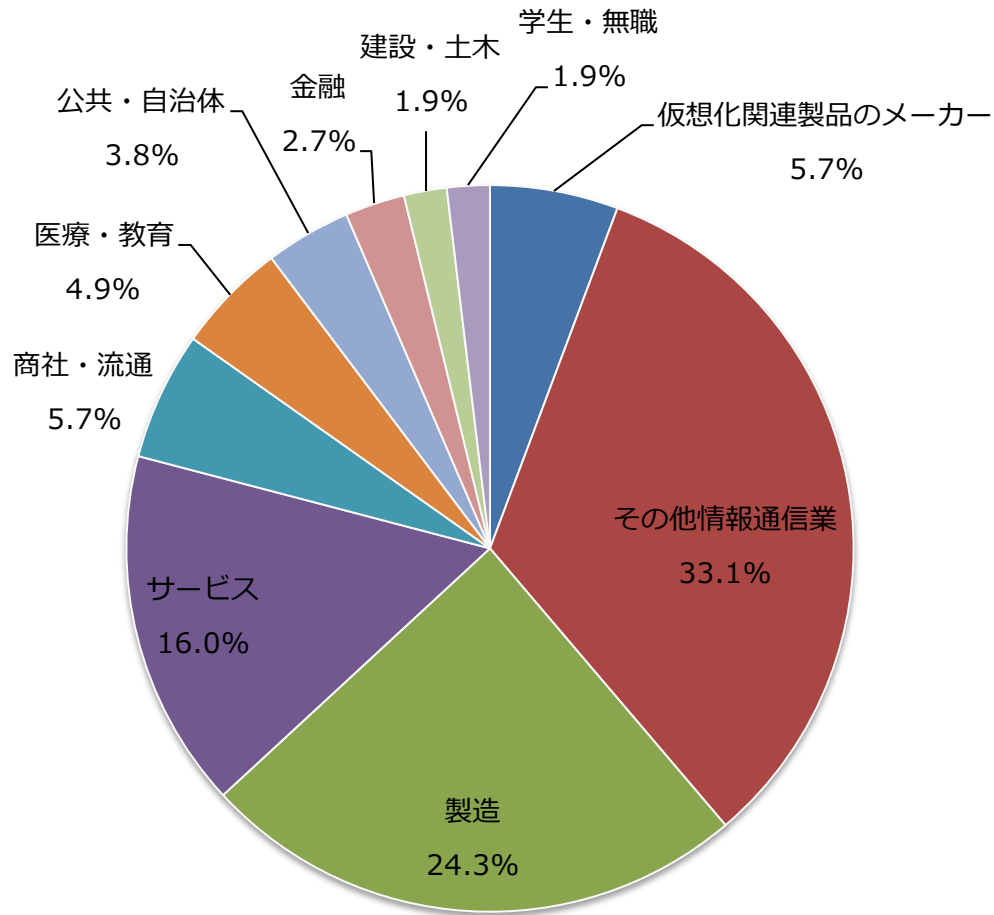


2014年1月14日～1月28日実施

- **目的**
 - IT製品・サービスの導入に関与する方を対象に、サーバ仮想化／デスクトップ仮想化製品の導入状況、満足度、選定ポイントなどについてお伺いします
- **方法**
 - Webによるアンケート
- **調査対象**
 - TechTargetジャパン会員
- **調査期間**
 - 2014年1月14日（火）～1月28日（火）
- **総回答数**
 - 263件

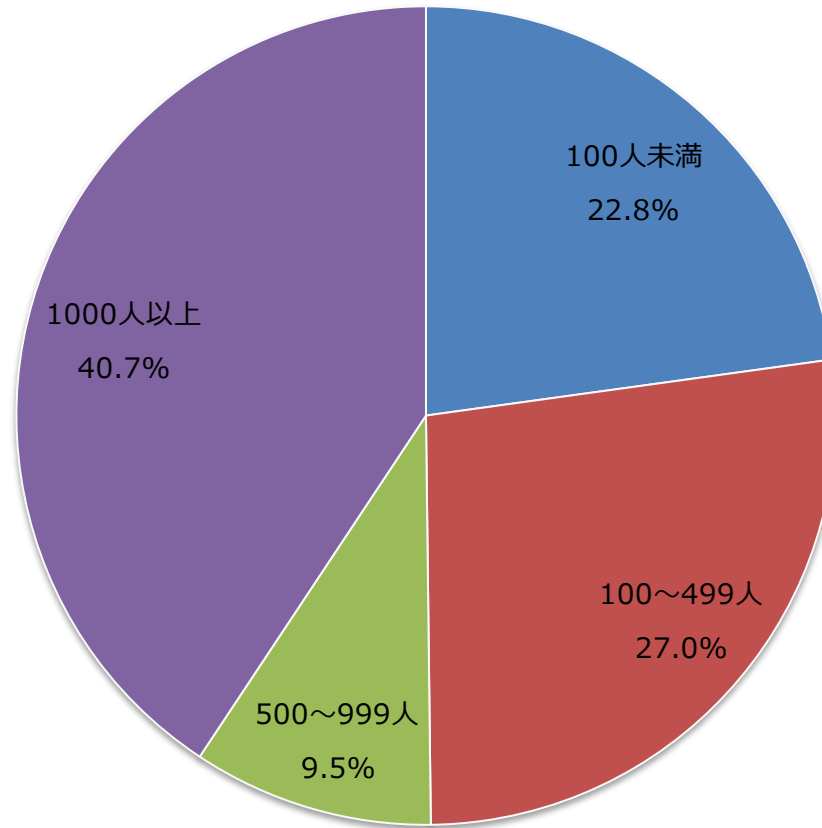
※回答の比率（%）は小数点第1位を四捨五入し表示しているため、比率の合計が100.0%にならない場合があります。

お勤め先の業種を選択して下さい



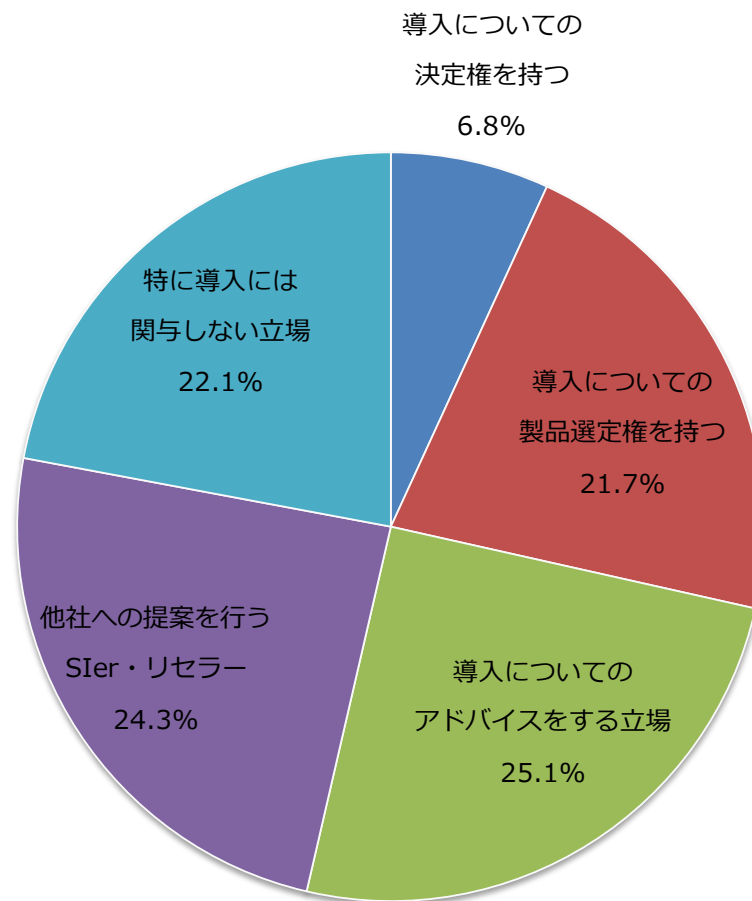
IT以外の割合は、「製造業」の24.3%を含め、59.3%

お勤め先の従業員規模を選択してください



従業員規模「1000人以上」の大企業の割合が40.7%と最も多い
 「500~999人」(9.5%)、「100~499人」(27.0%)の中堅規模の割合は36.5%

お勤め先で仮想化関連製品を導入する際の、あなたの立場にあてはまるものお選びください

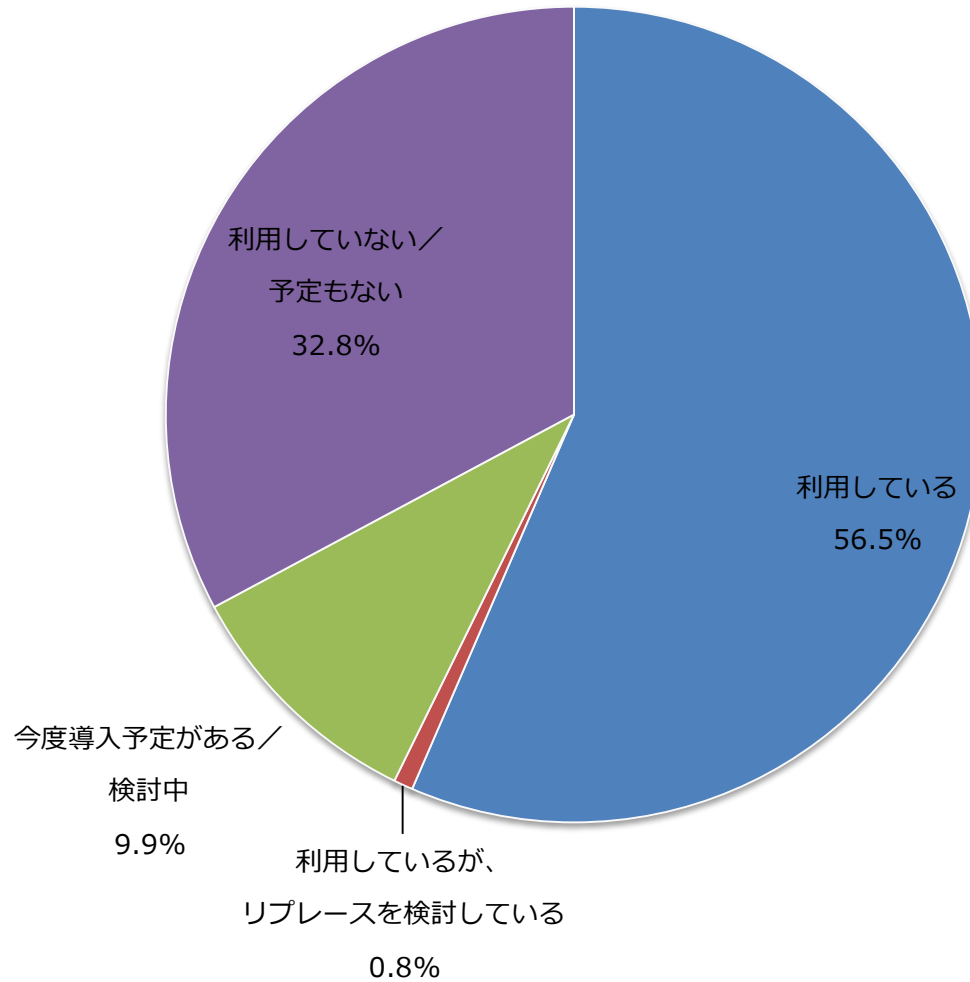


自社の仮想化関連製品における導入関与者は、53.6%

Part 1

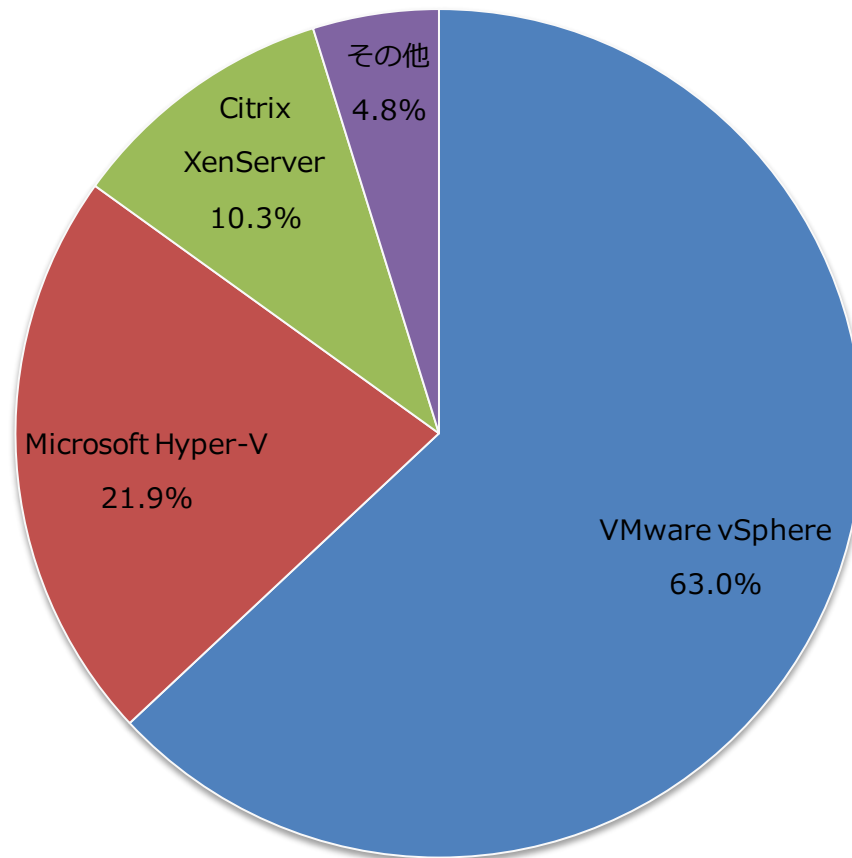
サーバ仮想化

お勤め先では、ハイパーバイザー方式のサーバ仮想化製品を利用していますか？



ハイパーバイザー方式のサーバ仮想化製品を利用している割合は56.5%

現在お勤め先で主に利用しているサーバ仮想化製品を お選びください (複数ある場合は、もっともライセンス数が多い製品をお選びください)



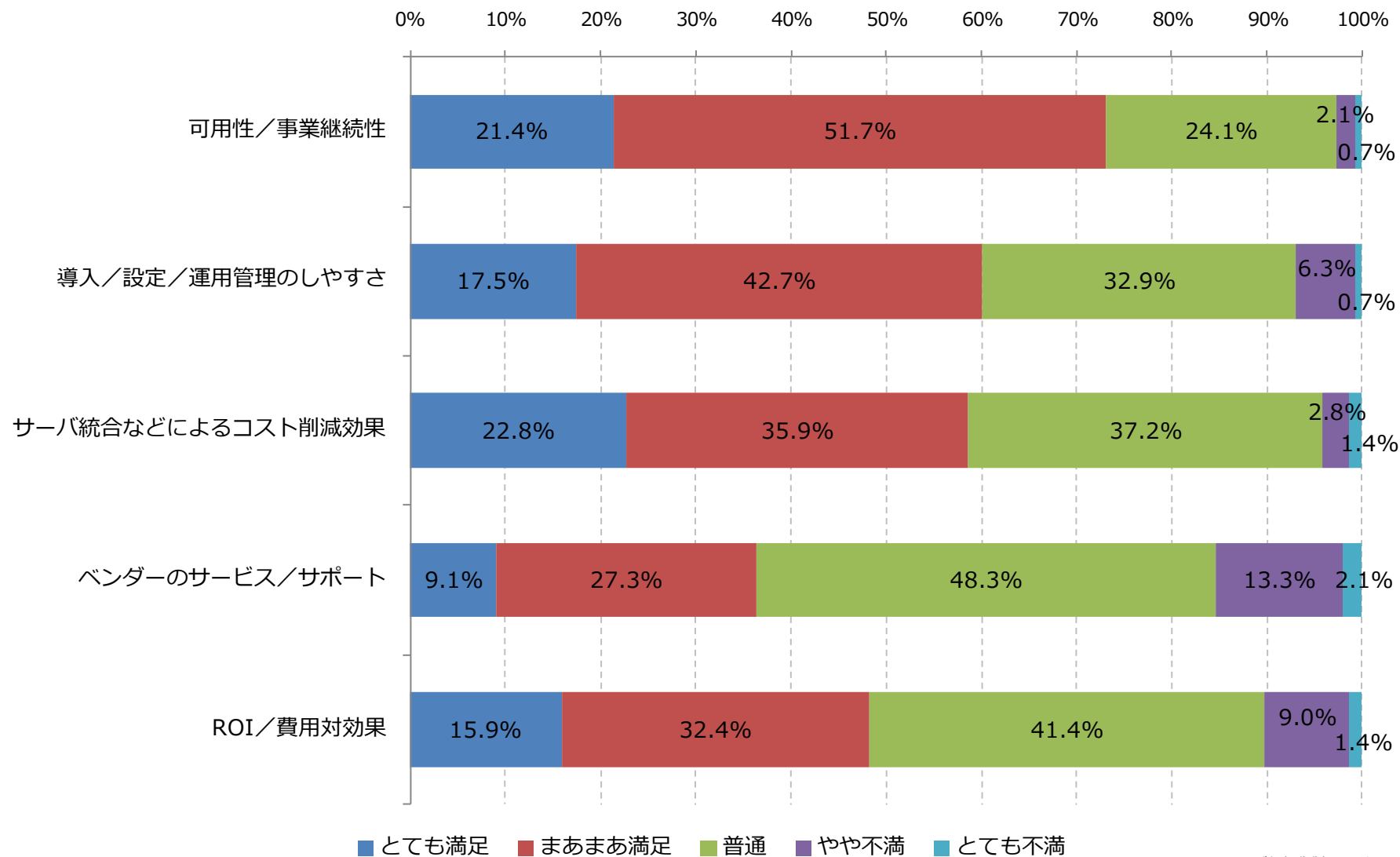
その他の回答

- VMware ESXi
- Esxi5
- KVM
- TortoiseSVN

最も利用されているサーバ仮想化製品は
「VMware vSphere」 (63.0%)

サーバ仮想化製品を利用している方のみ
N=146

利用しているサーバ仮想化製品について、 以下の各項目の満足度にあてはまるものをお選びください

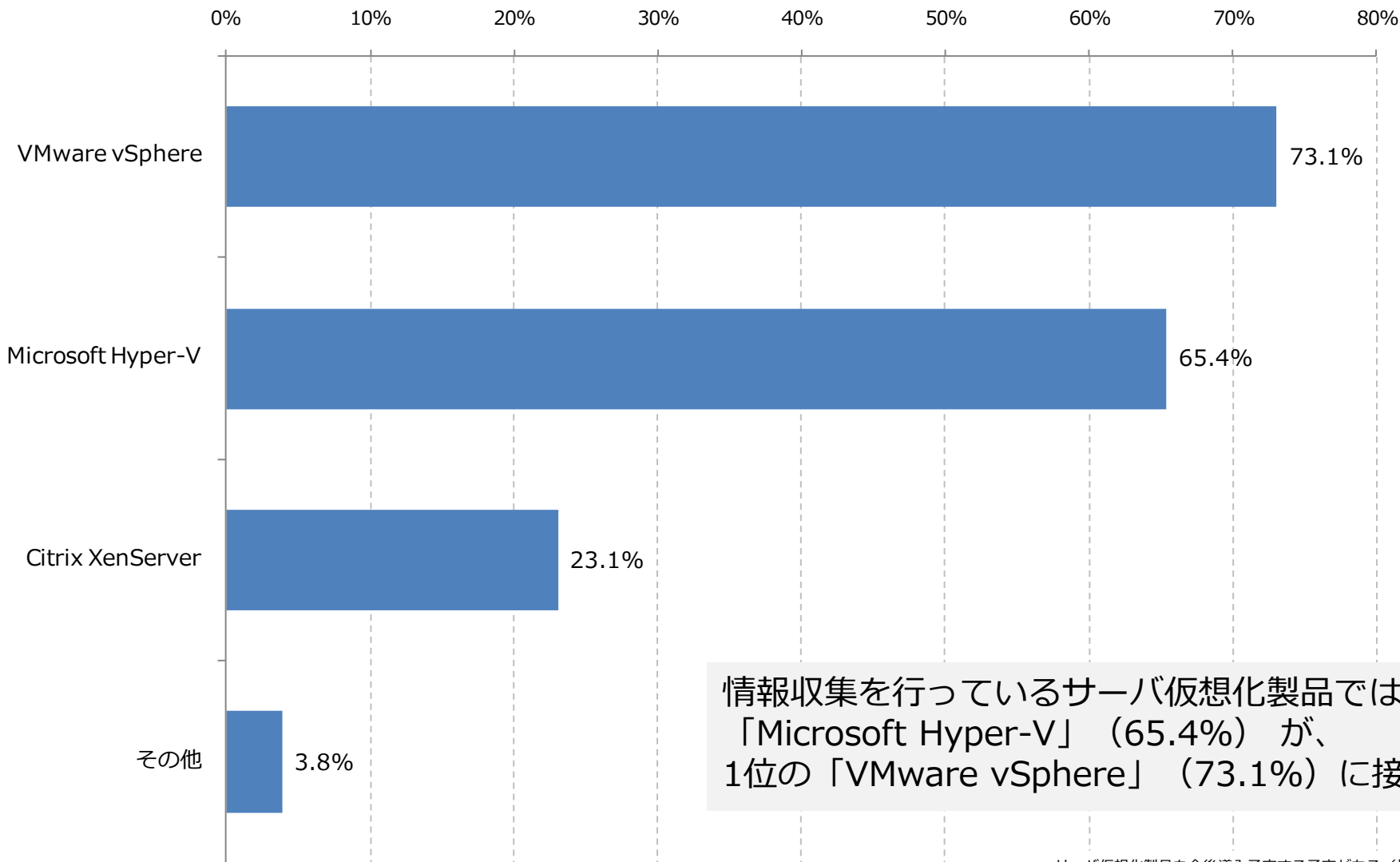


サーバ仮想化製品を利用している方のみ
N=146

利用しているサーバ仮想化製品について、 ご意見や改善希望などがあれば、具体的にお聞かせください

- VMware vSphere
 - ハイパーバイザーのコストが高い。クラウド環境用のライセンスがほしい。
 - 価格競争力が弱い。ハードウェアパーティションとなるオプションが欲しい。
 - 統合に優れているが、管理については、別途ソフトウェア等を使用する必要があり、その選定には苦慮している。
 - 実サーバから仮想サーバへの移行費が高価。頻繁なバージョンアップがあるが、古いバージョンから新しいバージョンが使えない。バージョンアップに対する移行費、保守費も高価。
 - Windowsに慣れている管理者にはインターフェースの敷居が高い。
 - 仮想化製品も高いが、バックアップなど付帯製品が高い
 - 仮想マシン同士の完全な分離性
 - 各社ともサポート力において、非常に不満
 - 継続性（VerUp）対応に不安がある。スムーズなVer.Up移行が可能な製品作りを目指して欲しい。
 - ライセンス形態が複雑に感じる。最新バージョンはいつも、手順書レベルの情報が入手しにくいと思います。
 - Hyper visor をセットアップする際の周辺サーバの準備が大変。
 - 管理者育成が大変。
 - リソース状況の簡単な把握
 - 業務アプリケーションの新しいOS対応がなかなか実施されない場合、仮想化による運用はいつまで継続できるだろうか。
 - 教育コストが高い
 - ライフサイクルが短い。バージョンアップの更新時のコストが高い。
 - ライセンスや保守が高い
 - 始めたばかりなので、まだ具体的には分からないが、思っていたより可用性向上に貢献しそうにはない。
 - 準備は容易だが管理や拡張が大変そうに見える
 - もう少し導入に関する敷居が低いと良いと感じる、こちらのスキル不足ではあるのですが。
 - サーバ仮想化製品のサポートサイクルが短すぎる。少なくとも、同時に購入したサーバ・ハードウェアと同程度の期間はサポートすべき。
 - サポートが悪い
 - 知らないうちアップデートが行われているなど、情報がわかりづらく、通知が不十分。新機能なども含まれていることがあるのでちゃんと告知して欲しい。
- Microsoft Hyper-V
 - USB製品が使えるように対応してほしい
 - 技術的なサポートを充実してもらえると、導入しやすくなると思います。
 - 本校で使用しているWin2008R2 サーバだとソフトスイッチの機能が十分ではありません。
 - CAD等のVGAを使った処理を今以上に強化してほしい。
 - 動的にCPU/メモリ/ディスク領域の変更を可能にして欲しい
 - ユーザの要望に応じて環境等自由のきくものが望ましい
 - ライセンスが複雑
- Citrix Xen Server
 - HDDアクセス状況が分からないのが不便
 - OAではXen、開発ではHyper-VとOVMを利用しているが、ユーザ数もあると思うがXenはやや遅い。

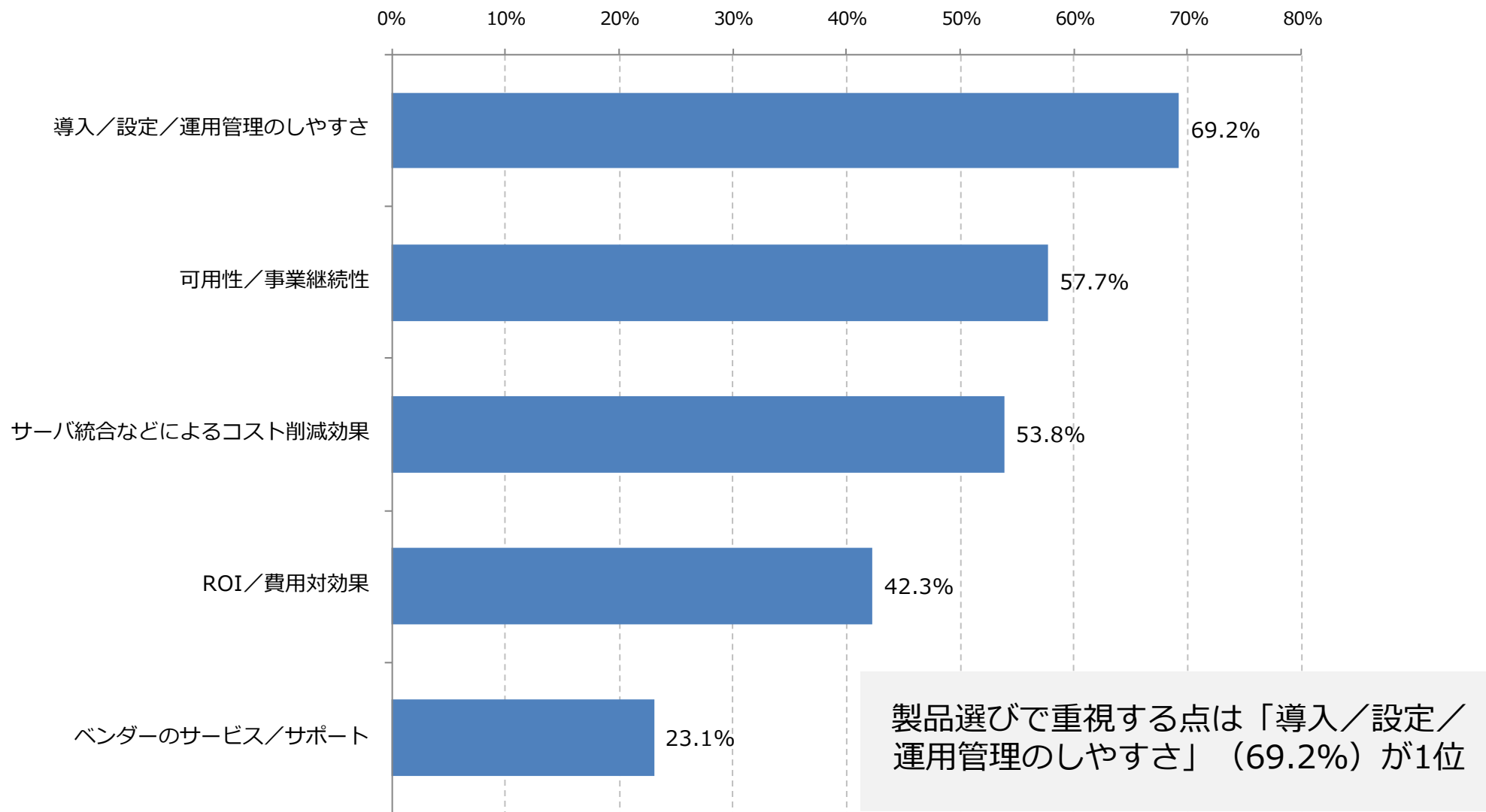
現在導入に向けて情報収集を行なっているサーバ仮想化製品をお選びください



情報収集を行っているサーバ仮想化製品では、「Microsoft Hyper-V」(65.4%)が、1位の「VMware vSphere」(73.1%)に接近中

サーバ仮想化製品を今後導入予定する予定がある/検討中の方のみ
N=26

サーバ仮想化製品を導入にあたって、 どのような点を重視して製品を選びますか？



サーバ仮想化製品を今後導入予定する予定がある／検討中の方のみ
N=26

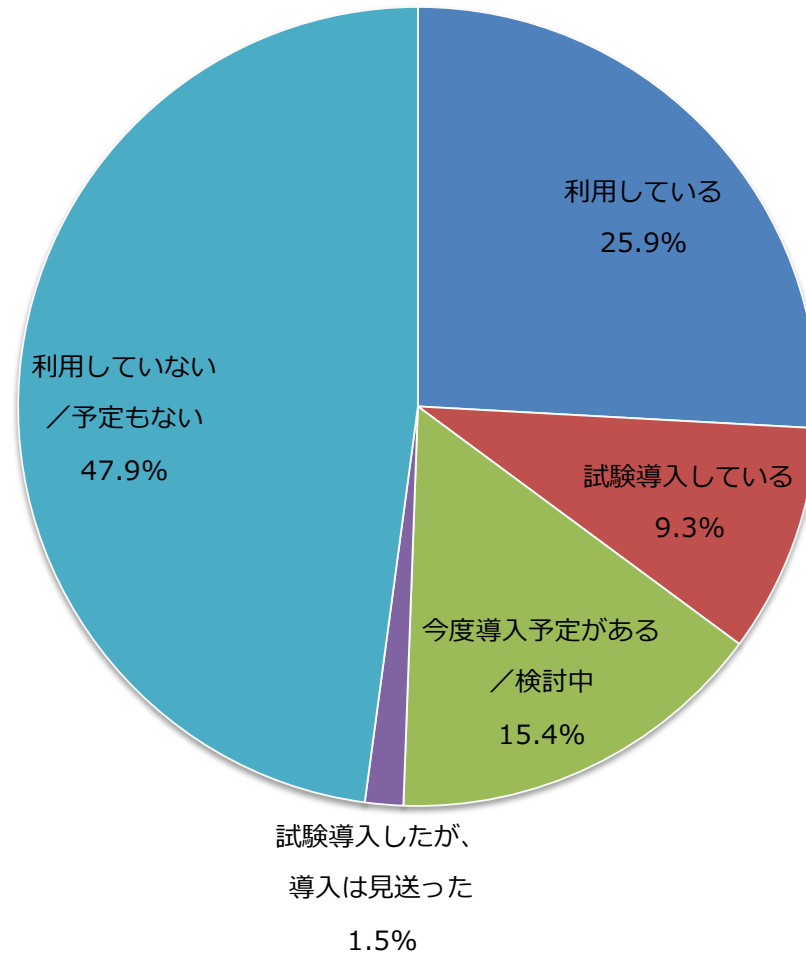
情報収集を行っているサーバ仮想化製品について、 ご意見があれば具体的にお聞かせください

- 比較しようにも、自社製品が優れている！という話のみになるので、フラットな比較が出来ない。
- 正直、どれも一長一短であり、決め手に欠けるところがあります。このあたりの比較情報ネタがあると非常に有難いです。
- 受託開発を事業としているため、導入経験が受託業務とリンクしている必要がある。そのため、よりシェアの高い製品(案件ニーズの高い製品)にすべきと考える。
- 仮想化でハードは集約による効果あると思うが、ソフト(OS)は集約されず各々のOS分購入でメリット得られない(と聞く)。
- サーバ仮想化製品を導入できるハードウェアの種類がよく分からない。

Part 2

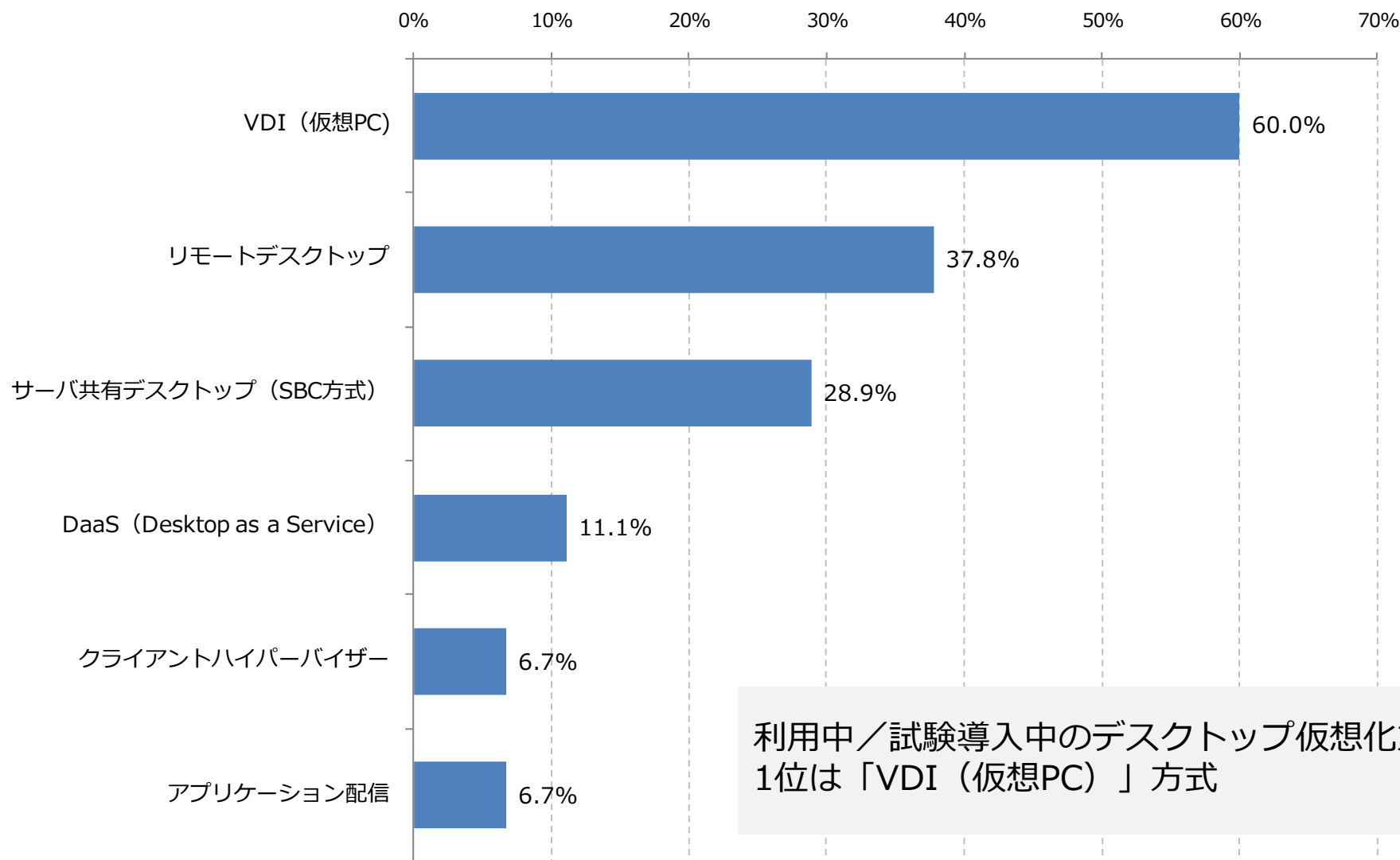
デスクトップ 仮想化

お勤め先では、デスクトップ仮想化製品を利用していますか？



デスクトップ仮想化製品を「利用している」割合は、25.9%。
「試験導入中」「検討中」の割合は、24.7%

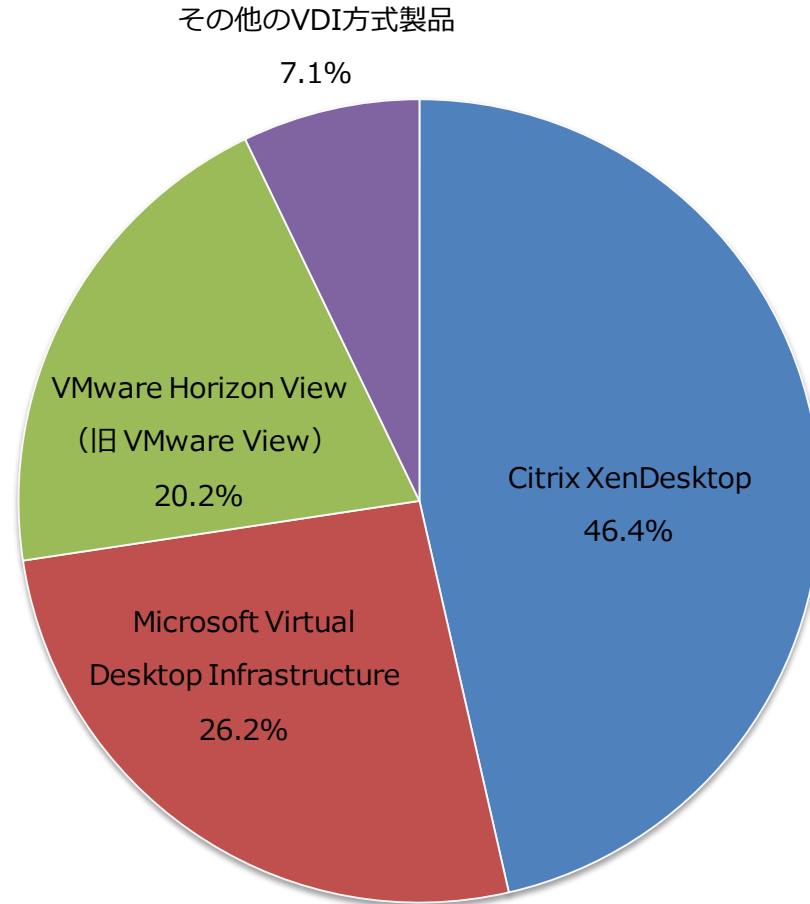
お勤め先では、どのデスクトップ仮想化方式を利用（試験導入） していますか？



利用中／試験導入中のデスクトップ仮想化方式の
1位は「VDI (仮想PC)」方式

デスクトップ仮想化を導入／試験導入している方のみ
N=90

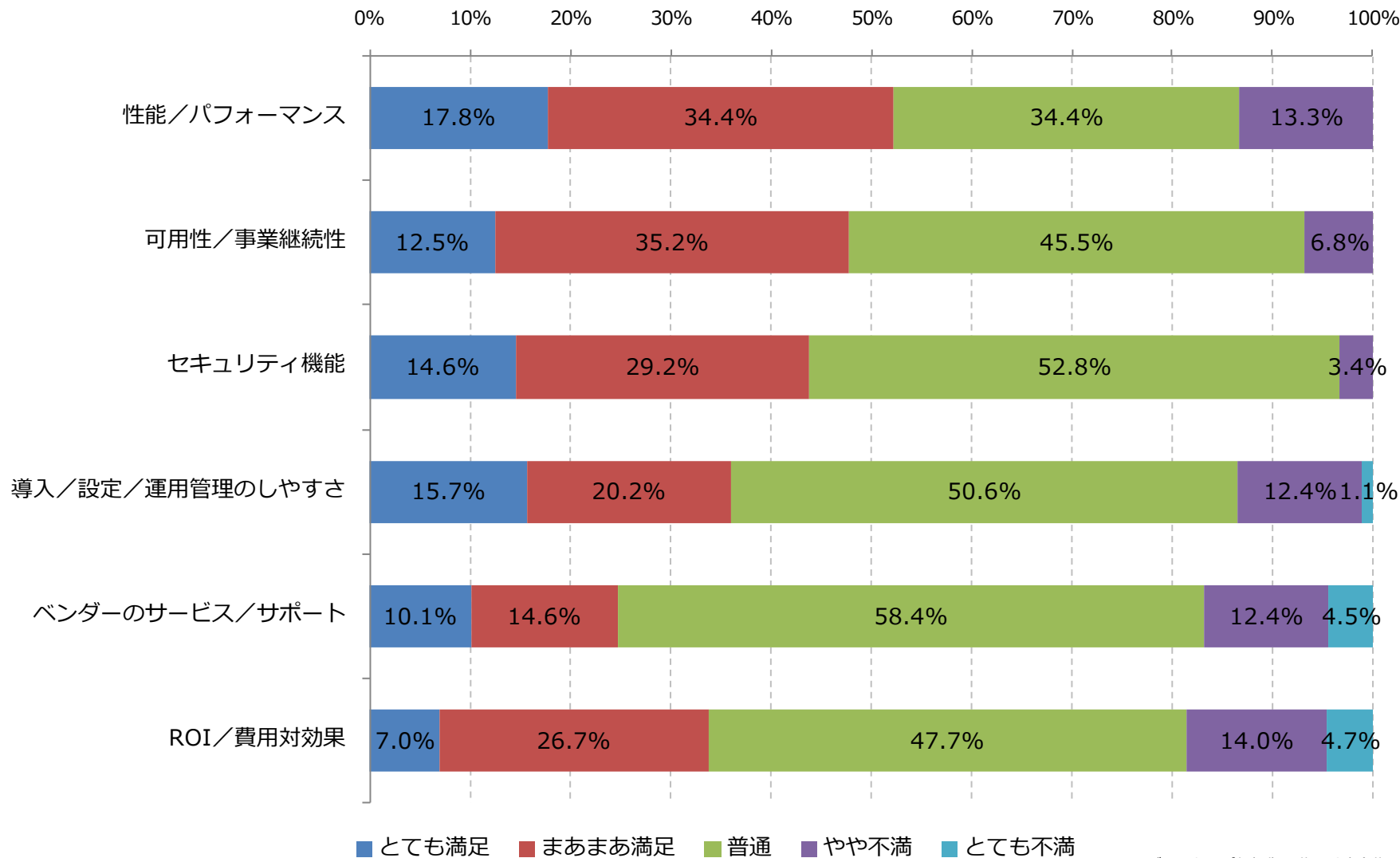
主に利用（試験導入）しているVDI方式のデスクトップ仮想化製品をお選びください （複数ある場合は、もっともライセンス数が多い製品）



VDI方式のデスクトップ仮想化製品で最も導入されているのは「Citrix XenDesktop」（46.4%）

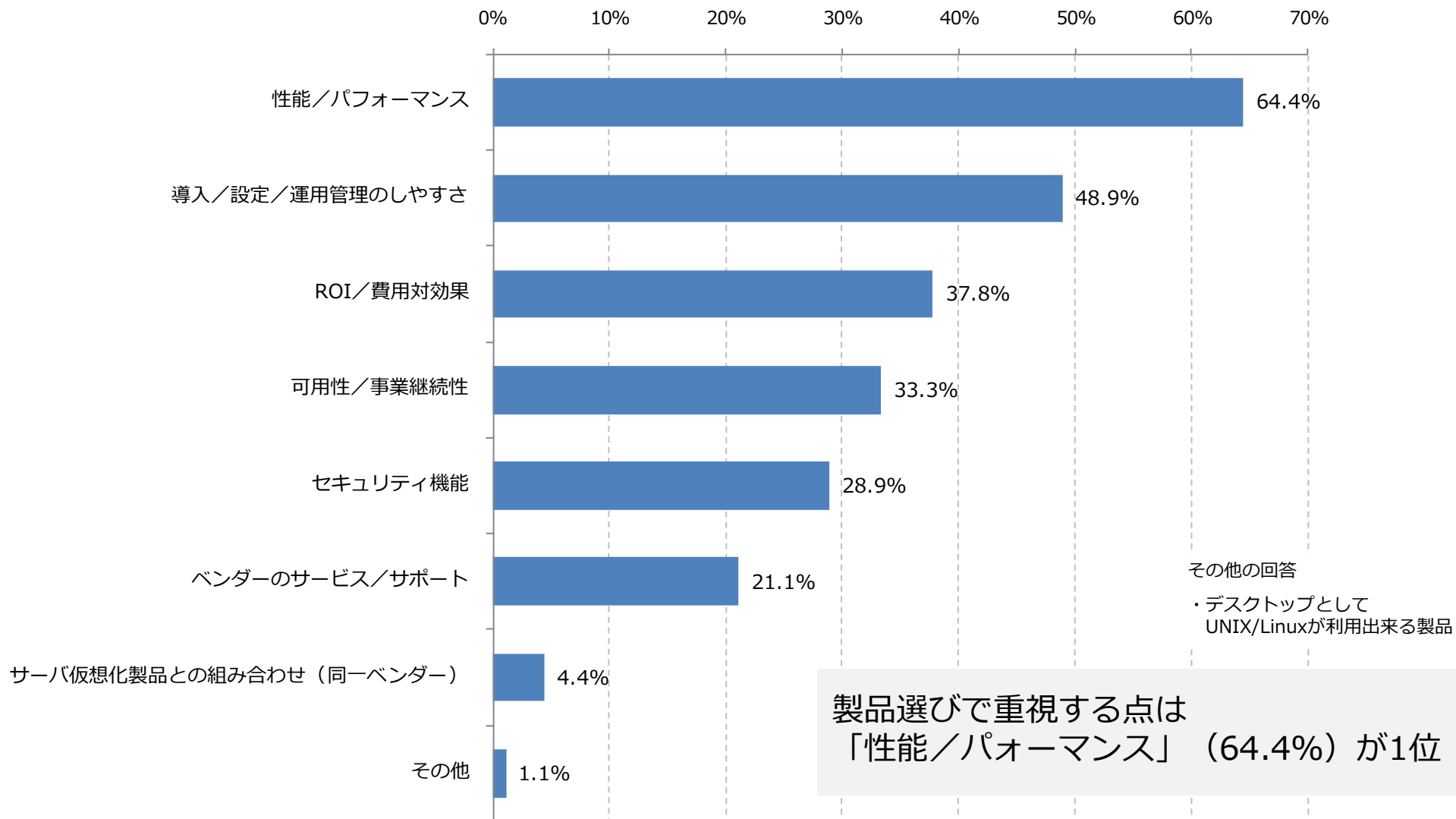
デスクトップ仮想化を導入／試験導入している方のみ
N=84

利用／試験導入しているデスクトップ仮想化製品について、 以下の各項目の満足度にあてはまるものをお選びください



デスクトップ仮想化を導入／試験導入している方のみ
N=90

今後、完全導入／追加導入／バージョンアップまたは乗り換える としたら、どのような点を重視して製品を選びますか？

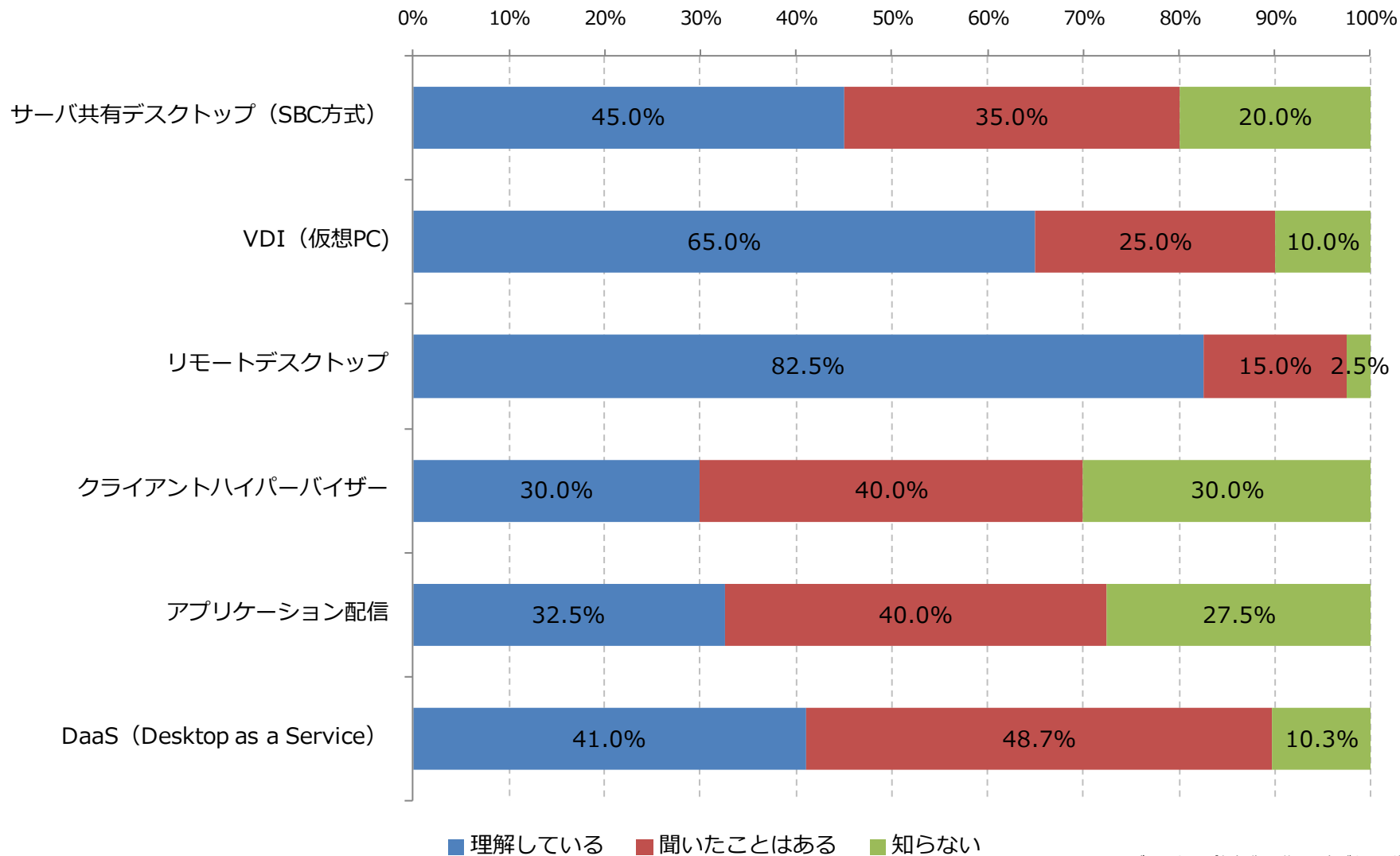


デスクトップ仮想化を導入／試験導入している方のみ
N=90

利用（試験導入）しているデスクトップ仮想化製品について、 ご意見や改善希望などがあれば、具体的にお聞かせください

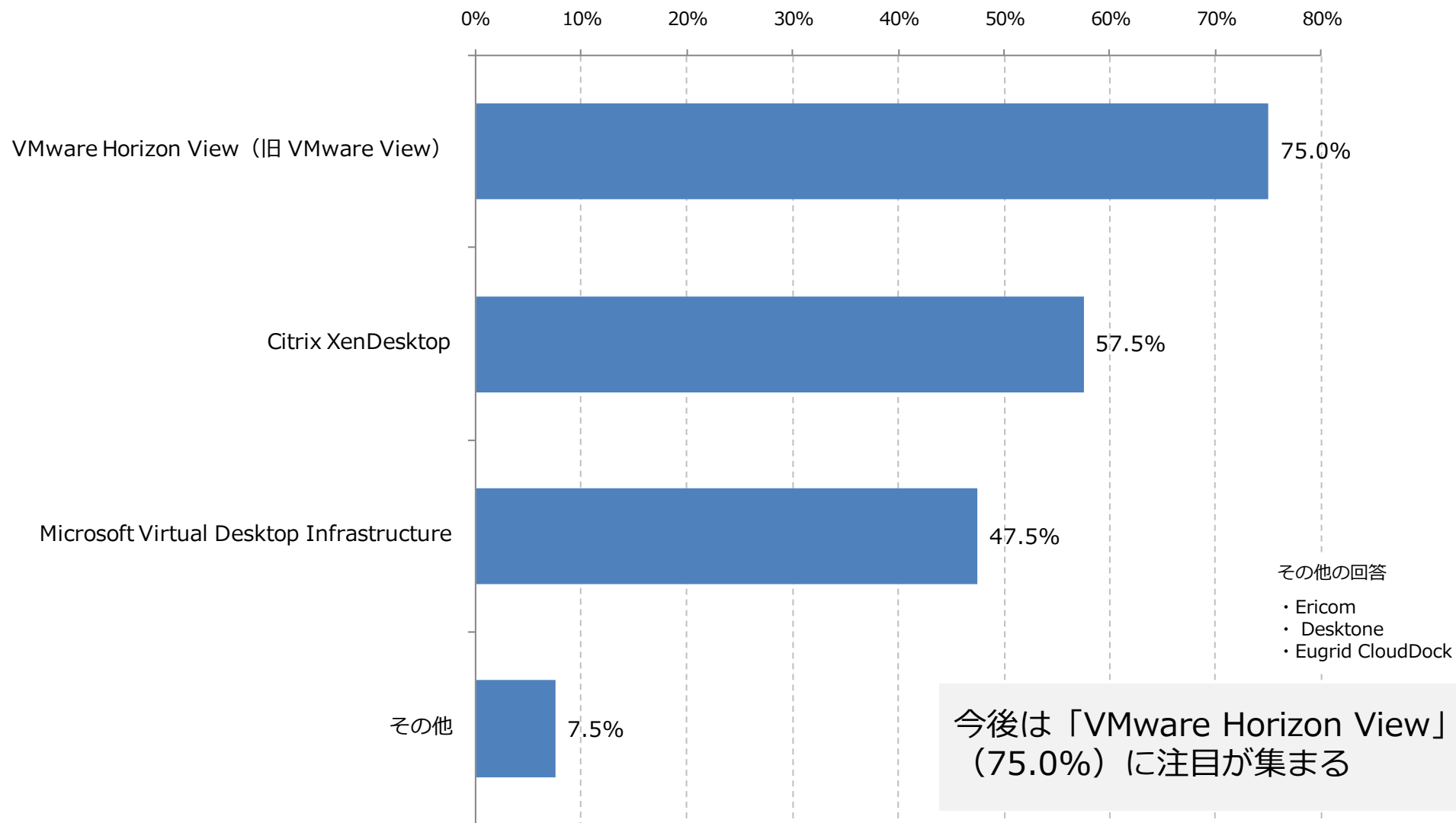
- Citrix Xen Desktop
 - 使用するネットワーク帯域を少なくしたい。
 - 保守期間が短い。複雑さが高い。高い。
 - 遅い
 - VDIは大掛かりな構成になるので、価格面の敷居が低く、可用性が維持できる製品の登場に期待します。
 - 慣れたデスクトップを使うため、またアプリケーションの継続使用が重要なため、VDIにしている。が、MS VDAが高すぎる。
 - 古いソフトウェア資産を使用するために導入しているが、クラサバと同様のパフォーマンスが出ないため苦慮している。
 - 難易度が高い
 - ユーザ追加時の設定作業等に工数がかかりすぎる。
 - 仮想製品のせいかは不明であるが、PDFが遅い。
 - 投資効果。
 - サーバーのパフォーマンスが悪いことがある。
- Microsoft Virtual Desktop Infrastructure
 - 通常使用では問題ありませんが、本校のインフラでは、仮想GPUが使用できないためパワーポイント等に動画ファイルを挿入した場合あるいは、Webの動的コンテンツは、使用に耐えない。サーバにグラフィックボードを増設する手段も有るが、サーバの保守の絡みで、難しいため、動的なコンテンツが使えれば文句なしです。
 - XenDesktopを導入したいが、いかんせん高価すぎる
 - クライアントのライセンスをもっと安くしてほしい
 - パフォーマンスが上がると尚良い
- VMware Horizon View（旧 VMware View）
 - ビジネスPC導入に比べ高価。利点を考慮しても費用対効果があるのか疑問。
 - 可用性をあげたい。
 - 安定性に欠ける
- VDI方式以外を利用
 - 導入計画に参加した私自身としては、使用していても特に不満はありません。一方で、仮想環境に慣れていない人からすると、反応が遅いとか、キーの割り当てが通常の場合と異なるといった苦情を受けています。仮想環境にしたことでコスト面や運用・管理の面で助かる面が大いにあるのですが、ユーザー側の使い勝手との折り合いが、今後の問題ともいえます。

下記のデスクトップ仮想化方式について、 どの程度ご存知ですか？



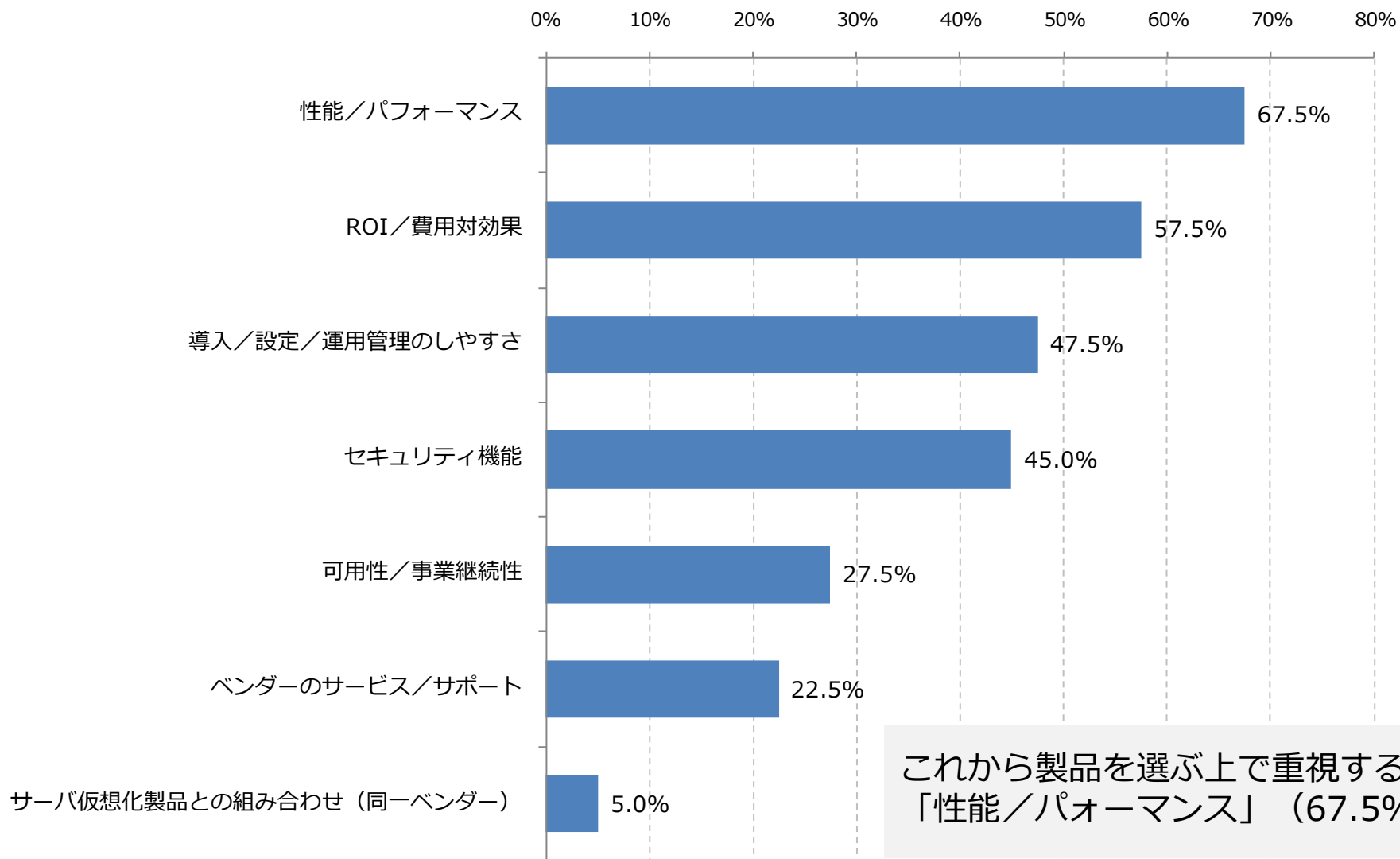
デスクトップ仮想化の導入予定がある／検討中の方のみ
N=40

現在導入に向けて情報収集を行なっている デスクトップ仮想化製品をお選びください。



デスクトップ仮想化の導入予定がある／検討中の方のみ
N=40

デスクトップ仮想化製品を導入にあたって、どのような点を重視して製品を選びますか？



デスクトップ仮想化の導入予定がある/検討中の方のみ
N=40

情報収集を行なっているデスクトップ仮想化製品について、 ご意見があれば、具体的にお聞かせください

- 費用対効果がどれぐらいあるのか判断できない。
- 導入費用が高い。
- 価格をオープンにしてほしい
- ベンダーによってかなりスキルにバラつきがあるようだ。認定資格SEが指定できるなどの制度を整備して欲しい。
- こちらも基本的にはサーバと同様です。比較情報のネタがあると非常に有難いです。
- OS環境レイヤーからの、配信って本当に必要ですか？
- 導入がスムーズに行えるもの。

「TechTargetジャパン会員調査レポート」の内容の一部または全部を無断で複製・転載・転訳することは、閲覧のためのダウンロードほか、法律で認められた場合を除き、これを禁じます。

【お問い合わせ先】

発行：アイティメディア株式会社 TechTargetジャパン編集部
担当：TechTargetジャパン編集担当

【お問い合わせフォーム】

<http://www.itmedia.co.jp/info/mail/?ttmembership#formStart>